

## 簡易公募型指名競争入札のお知らせ

下記の案件について、簡易公募型指名競争入札を行いますのでお知らせします。参加を希望される方は、宇治市公募型指名競争入札(見積)実施要領、宇治市競争参加業者選定基準及び運用基準、宇治市競争入札心得を熟読、承知のうえ、参加を申し込んで下さい。

令和 8年 6月12日

宇治市長 松村 淳子  
(担当課：契約課)

### 記

業務名	底生生物調査業務委託		
業務場所	宇治市内		
委託期間	令和8年7月15日 ～ 令和9年3月31日 260日間		
業務概要及び条件	宇治川内の底生生物の調査を行う。		
予定価格	¥1,628,000 (税込)	最低基準価格	¥1,139,000 (税込)
入札参加者に必要な資格・条件			
次の①～②の全てを満たすこと ①参加資格者名簿登録 ②底生生物調査業務実績(元請)			
入札参加表明書の受付			
提出期限 令和8年6月18日(木) 午後 5時 00分 まで 提出場所 郵便入札 添付資料 別紙参加表明書に記載のとおり			
入札予定	予定日 令和8年7月8日(水) 場 所 宇治市役所 西館4階入札室		
前払金	無	部分払	無
消費税の扱い	消費税及び地方消費税を含んだ金額で行うこと		
その他	本件はランダム係数を用いた最低制限価格を適用しますのでご注意ください。 本件は郵便による入札を実施します。別紙「説明会に替えて連絡する事項」を熟読してください。		

## 説明会に替えて連絡する事項

- ・本案件に係る質疑の受付は、次のとおりとします。  
令和8年6月12日（金）午前9時から  
令和8年6月25日（木）午後5時まで
- ・お知らせの入札（見積）予定は、開札予定となります。入札書（見積書）提出については、指名通知時にお知らせする指定期日（持参の場合は提出日）を厳守してください。
- ・郵便入札について、不参加により指名停止は行いません。
- ・封筒の雛形は、契約課ホームページ「様式等ダウンロード」よりダウンロードしてご使用ください。
- ・「郵便入札にあたっての注意事項」及び「宇治市郵便入札の応募案内」を熟読してください。宇治市ホームページ (<https://www.city.uji.kyoto.jp/soshiki/27/55607.html>) に掲載しています。
- ・入札、契約等に係る連絡はメールで行っており、競争入札等参加資格審査申請の際に記入いただいたメールアドレス（申請後に変更の届出をしている場合はそのメールアドレス）に送信します。新たにメールアドレスを登録される場合や他のメールアドレスに変更を希望される場合は、競争入札等参加資格審査申請事項変更届を契約課に提出してください。
- ・令和8年4月1日以降に発注する案件については、指名業者を事後公表とします。

## 予定価格を超過して入札した者の取扱いについて

- 本件の入札において予定価格を超過して入札をした者は、本件の落札者が決定せず、再発注を行う際には指名しない場合があります。
- 入札辞退者に不利益を課すことはありません。

## 仕 様 書

### 1. 業務名称

底生生物調査業務委託

### 2. 委託期間

契約日から令和9年3月31日まで

### 3. 業務内容

#### (1) 業務概要

宇治川水域における底生動物の生息環境や周辺の河川環境を把握することを目的として調査を行う。

#### (2) 調査地点

宇治川水域 4地点 ※調査地点については別紙地図参照

- ・京滋バイパス上流（右岸）
- ・三室戸
- ・宇治橋下流
- ・塔ノ島中央

上記各地点で3箇所ずつ採集し、1つのサンプルにすること（計4サンプル）。

採集場所はなるべく流速が速く、川底が石礫になっている地点を選定すること。

#### (3) 調査時期

1回目： 8月中旬から下旬

2回目： 2月上旬から中旬

実施日は宇治市と受託者が協議のうえ決定すること。

#### (4) 調査方法

##### ア 業務計画書の作成

受託者は、宇治市と調査時期、調査地点、調査方法、人員体制、安全対策等について事前に協議を行い、業務計画書を作成し、提出すること。

##### イ 現地調査

業務計画書に基づき、下記方法にてサンプルを採集する。なお、必要に応じて別の採集用具を用いること。

##### 採集方法

- ①各採集箇所の下流部に、目合 0.5 mm以下の D フレームネットもしくはサーバーネットを設置し、採集箇所（1箇所あたり面積：25cm×25cm もしくはそれ以上の面積）の石を取り上げ、流された生物をネットで受け取るように採集する。採集面積を記録する。

- ②取り上げた石に付着している生物を採集。その際に、取り上げた石のサイズを記録し、写真を撮影する。
- ③採集したサンプルをポリ瓶等に入れて固定する。

#### 地点記録

- ・採集地点の地点名、日時、天候、水温、水深、流速、川底の状況、水のおい、水の濁りを記録する。
- ・各採集地点の特徴（環境の特徴、水際の状況等）を写真撮影する。
- ・各採集箇所の水深と平均流速を記録する。
- ・各採集箇所でも可能な範囲で採集前と採集後に川底の水中写真を撮影する。

#### ウ 室内分析

現地調査において採集したサンプルを室内に持ち帰り、ソーティングを行い、種の同定（綱、目、科、属、種名、和名）、種ごとの個体数、種ごとの湿重量（単位：1mg かそれ以下）の計測を行う。

#### エ 報告書作成

受託者は、今回の調査結果及び文献情報等を統合し、底生動物の生息と河川環境の関わりについての考察をまとめ、成果に準じて調査結果報告書を作成する。

#### (5) 成果品の提出

下記の成果品を各回実施ごとに提出すること。

- ・調査結果報告書 3部
- ・調査結果報告書電子データ（CD-R または DVD-R） 2部

#### 4. 委託料の支払い

2回目の業務完了後、受注者の請求に基づき支払うものとする。

#### 5. その他

- (1) 業務成果に係る著作権等の全ての権利は宇治市に帰属する。
- (2) 本仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合、別途協議のうえ決定する。
- (3) 業務実施にあたり、法令等を遵守し、安全対策に十分留意すること。業務実施に関し発生した一切の事故、損害等については速やかに宇治市に報告するとともに、受託者の責任において処理すること。
- (4) 業務実施にあたり、使用する調査道具等にかかる費用はすべて受託者の負担とする。
- (5) その他、細部については宇治市環境企画課の指示に従うこと。

